

第2次掛川市総合計画改定・ポストコロナ編
基本構想・計画改定案へのご意見の反映状況

資料 2

【 第7回総合計画審議会（11月19日開催） 】

No.	発言者	ご意見の概要 (会議内、その他事前・事後に いただいた主なご意見)	分野	反映状況
1	委員	掛川市には外国人が定着しやすい環境があるので、そういった施策も取り組んでいくとよい。	人口	基本計画7-(1)「多文化共生のまちづくりの推進」のほか、各分野ページに外国人の方も住みやすいまちへの施策を記載するとともに、令和3年3月策定の「第3次多文化共生推進プラン」を軸に、外国人の方へ情報発信をしていきます。
2	委員	人口増加に向けて、外国人の方も来てもらえるような、魅力ある掛川をPRしていくとよい。		
3	委員	防災に強い掛川というところも掛川市の売りにして人口増加につながるとよい。	人口	総論14ページ4-(1)②ウに「 <u>減災効果などの情報発信</u> 」と記載し、各分野において、掛川市の安全・安心なまちづくりを情報発信していきます。
4	委員	関係人口は、働き方や住み方が変わったことを踏まえて、検討していく必要がある。	人口	働き方・住み方・暮らし方などの変化を踏まえた「関係人口」の意義を捉え直すとともに、施策につながるわかりやすい指標を検討していきます。
5	委員	関係人口の指標が何かあると、定住人口対策にもつながりやすいと思う。		
6	委員	生涯学習の推進においては、担当課として生涯学習協働推進課も入れた方がよい。	教育	基本計画1-(2)①施策の方向「生涯学習機会の充実」の、担当課に生涯学習協働推進課を、主な事業に社会教育推進事業を加えました。
7	委員	基本計画1-(1)④「3つの創る力」と子どもが将来の夢を持つ成果指標との関連性が見えにくい。	教育	「3つの創る力」を育むことが、「将来の夢を持つこと」につながると捉え、指標として設定しました。
8	委員	基本計画2-(1)④の指標「子育てに優しい事業所」等についても、時代に沿った取り組みを踏まえた評価観点をに入れていくとよい。	子育て	事業所の認定基準等子育て事業を進めていく中でも、新しい観点を加えていくようにします。
9	委員	基本計画3-(3)で、森を守ることは水の確保や防災においても大切なことなので、環境教育や森林教育につながる表現があるとよい。	環境	3-(3)①施策の方向「森林の保全と活用」に「 <u>森林環境教育の実施や情報発信等により、市民が森林・林業・木材産業理解・関心を深め</u> 」と追記しました。
10	委員	地域の産業育成においては、官民連携の中で継続的に推進していく必要がある。	産業	4-(2)③施策の方向「官民連携による市内の経営支援」に「 <u>市内企業の継続・発展につなげるとともに、新しい産業の創出・育成を推進します。</u> 」と追記しました。
11	委員	基本計画6-(6)①「新しいデジタル技術や人流データを活用したスマートシティ推進」と住宅着工率の成果指標との関連性が見えにくい。	都市基盤	住宅着工比率は多極ネットワーク型コンパクトシティの進捗を示す1つの基準であると捉え、指標として設定しました。

12	委員	市民の安全のためには、3次元点群データやオープンデータなどテクノロジーを連携させて見える化し、コミュニティや生活に落とし込んでいくとよい。	安全・安心	基本計画7-(5)「未来に向けて誰もがつながるまちへの変革」に示すように、防災分野においても、テクノロジーの⑦基盤整備を進め、③つながるまちを推進し、⑤安全・安心なまちづくりを、全庁的・全市的に進めていきます。
13	委員	防災は情報入手の手段がデジタル化によって大きく変わってきているため、幅広く考えると、様々な事業展開ができる。		
14	委員	第1部総論の「ひと」づくりにおいて、「人財」と「人材」を整理した方がよい。	協働	基本計画7-(3)「協働によるまちづくりの推進」に記載されているように、まちづくりの「担い手」という表現で統一しました。

【市議会議員懇談会（12月16日開催）】

No.	発言者	ご意見の概要 (会議内、その他事後にいただいた 主なご意見)	分野	反映状況
15	議員	来年度のチャレンジ枠等新しい事業についても、できるだけ基本計画にも反映させていくとよい。	全体	制作スケジュールの中で可能な範囲で反映させていただきます。
16	議員	指標があいまいなものもあり、誰が責任をもって管理していくのかを明確にしていく必要がある。	全体	指標を含め、適切に施策の進捗管理ができるよう、引き続き運用方法の向上を検討していきます。
17	議員	目標人口11万人への見直しについては、消極的な間違った情報とならないよう、しっかりと説明を伝えてほしい。	人口	見直しの際の現状分析や推計の経緯、また新たな目標値に対して今後も積極的な取り組みを進めていくこと等について、明確な説明と情報発信を行っていきます。
18	議員	基本計画1-(1)の中で、「かけがわ型スキル」や「学びのユニバーサルデザイン」といった単語が分かりにくい。	教育	「これからの次代を担う子どもたちが身に付けるべき力『かけがわ型スキル』」、「最適な学びを得られる『学びのユニバーサルデザイン』」と修正するとともに、巻末の用語解説で説明をします。
19	議員	ふくしあは、全年代が必要としている「まちの保健室」というPRをしていくとよい。	福祉	基本計画2-(3)の現状と課題を「「まちの保健室」である市内5か所の地域健康医療支援センター「ふくしあ」は、健康・医療・介護・福祉などに関する総合相談・支援や積極的に地域へ出向いて保健事業を進める地域拠点として周知を図ります。」と修正しました。
20	議員	子どもに貧困対策について、もう少し記載があった方がよい。	子育て	基本計画2-(2)施策の方向⑦「子どもの貧困対策の推進」において、引き続きニーズに応じた事業を推進していきます。
21	議員	基本計画3-(4)③の河川愛護事業については、内容も含めてもう少し検討した方がよい。	環境	今後変革が求められている施策なので、地域の状況を鑑みながら事業を検討していきます。
22	議員	基本計画4-(1)③のワークライフバランスの推進には、学童についても入れた方がよい。	産業	担当課に教育政策課を加え、主な事業に、子育てに優しい事業所づくり事業や、保育園・学童事業も再掲しました。